事例No.	2781
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	宇川加工所

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・少子化・人口減少

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

「買い物支援で過疎地域を盛り上げる」ピンクのおばちゃん達が宇川を救う

出典

令和４年度ふるさとづくり大賞事例集



「買い物支援で過疎地域を盛り上げる」ピンクのおばちゃん達が宇川を救う

宇川加工所（うかわかこうしょ）

DATA

事　例　名：「買い物支援で過疎地域を盛り上げる」
　　ピンクのおばちゃん達が宇川を救う
所　在　地：京都府京丹後市丹後町久僧1070番地
連　絡　先：TEL 090-3703-3267（代表：山口）

取組の概要

過疎・高齢化が進む宇川地区において地域内唯一のスーパーが撤退したことを受け、宇川加工所のメンバーにより、買い物する場所がなくなることに不安を感じる住民を救うため、他地域で移動販売事業を行う事業者に直談判し、地域に週1回のルートを誘致したほか、自治会等と連携して手作りマーケット「宇川金曜市」を開始。また、メンバーが、地域のNPO法人が行う自家用有償旅客運送「ささえ合い交通」のドライバーとして買い物に来ることが困難な高齢者の移動支援も併せて行うなど、地域の困りごとを自ら解決した。

評価された点

- 地域の加工施設を拠点に特産品の開発、販売、移動販売事業者の誘致などによる買物弱者支援、移動弱者支援など複合的に取り組んでおり、地域にとって不可欠な存在となっている点を評価。
- ドライバーとしての移動支援などを15人だけで行っており、「ピンクおばちゃん」というコンセプトがとても明るく、移動や買い物で困った人たちは安心につながっている。
- 地域コミュニティの強さが、特産品販売から移動販売事業者誘致、買い物支援へとつながっている。過疎化で日々の生活に困っている集落の参考に資する取り組みである。

取組のプロセス

取組を実施するに至った要因・背景や地域課題
その取組を実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ 2010年～
14地区の区長等で「宇川里力再生会議」を結成。
さまざまな課題解決のため、地域連携を強化。

2013年～

・宇川美味しんぼ大会の開催を機に、地域の食に関心が高まる。
・加工施設として、旧下宇川保育所の調理室を市から無償で借り受ける。

「宇川加工所」結成
・「地元食材で宇川を元気に!」をテーマに女性が中心となり8名で組織設立。

2018年～

・棚田米やエゴマキムチ、鮎など地元食材を活用した特産品の開発。

経ケ岬灯台での特産品販売
・地域内の観光名所である「経ケ岬灯台」での特産品の販売。



2019年～

・地域唯一のスーパーマーケットが撤退。**買い物する場所がなくなり不安**という声。
・地場産品や総菜が買い物できる環境がほしいという声。

移動販売事業者の誘致・運営の支援
・市内で移動販売事業を行う事業者に直談判し誘致。
・運行ルートの設定や高齢者の買い添えを支援。



2020年～

宇川金曜市の開催
・自治会等と連携し手作り市「宇川金曜市」を開始。
・名物「サザエご飯」など商品の約60％を生産・出品。







今後の展望
・地域住民が安心して暮らせるよう買い物できる場の提供、拡大。
・特産品の販路拡大により事業を強化→若手後継者の確保及び育成につなげる。
・若い世代も含めた地域住民全体の交流の場として活用されるよう展開していく。

受賞者のコメント

この度は、京都府最北端の京丹後市丹後町にある「宇川加工所」を選んで頂き、大変嬉しく光栄に存じます。皆様は京都府に海がある事を御存知でしょうか？人口わずか1,000人程度の海と山の豊かな景観と食材に恵まれたとても美しく美味しい「宇川」という地域です。そこはスーパーもコンビニもなくATMはゆうちょ銀行だけの小さな地域です。そこで10年前に地元の女性たちを中心に豊かな食材を利用した加工所を設立。買い物難民の為に移動スーパーを呼び込み、地域の元気な場として活動しています。その継続の為に今は「若い力」を求めている加工所です！